

未来のワタシに出会う日



平成23年度 家族でナットク! 理系最前線Ⅲシンポジウム

2011年8月6日(土) 13:00~16:15 ★途中入退場可
東京大学弥生講堂 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

事前登録が必要です

入場無料

- 定員 **300名** (保護者、教員の方の参加も歓迎します。)
申込みが定員を上回った場合は、抽選となることもございます。
- 参加登録方法 参加ご希望の方は、以下のURLから事前登録をお願いします。
電力事情の関係で、日程や内容が変更になる場合もございます。
その際には、東京大学男女共同参画室HP上でお知らせいたします。
<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/joshi>
- 主催 国立大学法人東京大学
男女共同参画室 理系進路選択連絡会
- 本事業は、独立行政法人科学技術振興機構
「女子中高生の理系進路選択支援事業」の支援を受けて実施します。

講演 **都市が健康をつくる?**
—米国ソルトレイクシティの肥満研究を題材に—
山田 育穂
[東京大学大学院情報学環及び空間情報科学研究センター 准教授]

講演 **節電から地球温暖化問題まで。
エネルギーについて考える日々。**
岩船 由美子
[東京大学生産技術研究所 准教授]

ちょっとステキな“理系”のお仕事
“理系”の活躍の場は研究開発部門だけじゃない!
さまざまな分野で活躍する“理系”の先輩を紹介します。
南崎 梓 [東京大学広報室]

大学の研究室って!?
どこでどんな研究をしているの? 学部や研究所ごとにご紹介します。

先輩たちと話してみよう
大学生、大学院生、先生方に質問をぶつけてみましょう!



《交通のご案内》 東京大学弥生講堂

地下鉄 ● 東京メトロ 東大前駅(南北線) 徒歩1分
● 東京メトロ 根津駅(千代田線) 徒歩8分

都バス ● 御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)より茶51駒込駅南口行、
または東43荒川土手操車所前行に乗車
東大(農学部前バス停)で下車、徒歩1分

未来のワタシに出会う日

■ 女子中高生の皆さんへ

あなたはどんな将来を思い描いていますか。もう就きたい職業は決まっているという人もいます。でも、まだ何も決められないのに、受験の準備は始めなきゃならないと焦っている人もいるかもしれません。もし「理系」がなんとなく遠い存在に感じてしまうという人がいたら、8月6日(土)に東京大学に来てください。もちろん「理系」に決めているという人も大歓迎です。学生から教授の先生にいたるまで、たくさんの「理系」の先輩たちの話を聞いてみてください。もしかしたら、なりたい自分に出会えるかもしれません。

■ 保護者・教員の皆様へ

OECD生徒の学習到達度調査 (Programme for International Student Assessment: PISA)の結果が示すとおり、15歳時点での数学的、科学的リテラシーに男女の差はありません。しかし、大学入学者に占める女子の比率が40%を超える今日においても、理工系の大学・学部に入学者は非常に少ないのが現状です。この傾向は諸外国と比べても顕著で、その理由のひとつとして、「女子は理系に向いていない」「科学者や技術者は男性の職業」といった誤解が我が国には未だ根強く残っていることが考えられます。

本シンポジウムは、第一線で活躍する女性科学者のプロフィールや研究内容を平易に紹介するとともに、理系の素養を活かして活躍する女性や現在理系の学部や大学院で学んでいる女子学生との交流の場を提供することにより、中学・高校の女子生徒の皆さんに理系分野における自らの可能性を考えていただくことをねらいとしています。

■ 講演者紹介



山田 育穂

Ikuko YAMADA

東京大学大学院情報学環
及び空間情報科学研究センター
准教授

1997年東京大学工学部都市工学科卒業。1999年同大学院工学系研究科修士課程修了。2004年に米国ニューヨーク州立大学バッファロー校地理学博士課程修了(Ph.D.)後、インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス校助教授、ユタ大学助教授を経て、2010年東京大学空間情報科学研究センター准教授に就任。2011年より現職。

先進諸国を中心に大きな社会問題となっている肥満や生活習慣病。今、これらを私達の住む都市の問題として捉えて、「住民の健康に役立つような都市環境」に着目した研究が盛んになっています。ここでは、地理情報システム(GIS)を用いて米国ユタ州ソルトレイクシティで行った肥満と住環境についての研究を通じ、健康問題への新しいアプローチを紹介します。● <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/professor.php?id=1285#info>



南崎 梓

Azusa MINAMIZAKI

東京大学本部広報室特任研究員
サイエンスコミュニケーター

2005年お茶の水女子大学理学部物理学科卒業。2007年に同大学院人間文化研究科博士前期課程を、2010年に同大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程を修了(博士(理学))。2010年より現職。

Photo: Y.Morita

岩船 由美子

Yumiko IWAFUNE

東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門
エネルギー工学連携研究センター准教授

1991年北海道大学工学部電気工学科卒業。1993年同大学院工学研究科修士課程修了。2001年に東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了(博士(工学))後、㈱三菱総合研究所、㈱住環境計画研究所勤務を経て、2008年東京大学生産技術研究所講師に就任。2010年より現職。

エネルギー・環境問題の根源は人間の欲だと私は考えます。人間はどのようなサービスを欲し、どこまでそれを抑えられるのか、またそれを満足させつつ、環境へのインパクトを抑えるためにはどのようなエネルギー供給システムが適しているのか、といった観点から研究を行ってきました。そしてこの夏直面する「節電」問題、エネルギーシステムの研究者としてできることを模索し、この春から「緊急節電」というWebサイトを立ち上げ、有効な節電対策について各方面に説明を試みてきました。そのような取り組みについても紹介したいと思います。

● <http://www.iwafunelab.iis.u-tokyo.ac.jp/index.html>



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/joshi>